京城日報

本紙定價 一箇月金壹圓 前金…… 郵送料…… 廣告料……
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
發行兼編輯人 小川三之介
電話…… 振替京城三〇

再出兵に反對
間島撤兵交渉に對する 支那政府の回答

支那政府は十二日午後小幡公使に對し日本の間島撤兵には賛成なるも將來支那にて治安維持の不可能なる場合は便宜日本より出兵すべしとの趣旨には反對なる旨答書を交附したり（北京電報）

米國議員の色眼鏡
太平洋艦隊の充實を説く

米國下院議員ダイアー氏は宣言して曰く、日本海軍の艦船數は遙に米國太平洋艦隊を凌駕す日本は東洋の覇權を握り東洋に於る一切の外國の利權を支配せむとする野心を有し米國が極東に於て優越せる役割を演ぜるを嫉視し居れり朝鮮併合は鮮人の意志に反して實行され日本は今や支那國民の意志に反して支那を蠶食しつゝあり米國はこの際太平洋艦隊を建造し日本を威嚇せざれば日米戰爭の勃發を見む米國は布哇及び比律賓群島を保護す可し講和會議が日本に割讓せるカロリン、ラドロン、マーシャル群島に日本は大規模の要塞を築造せる爲め米國は比律賓群島を極東全部との交通線を將に遮斷されむとす（十一日セントルイス發電）

職工の報復と判明
ウオルド街爆發事件

去る九月十六日紐育ウオウルド街の爆發にて即死二十名負傷者百名を出したる事件は調査の結果無政府主義者の所爲に非ずして建築組合に對し報復的に企てたる職工等の陰謀なりし事判明せり犯人は未だ縛に就かず（紐育電報）

日本代表ゼネバ行

倫敦駐劄日本大使林男は大使館參事官齋藤博氏其他館員と共に國際聯盟總會參列の爲十日先づ巴里に向け當地を出發し巴里よりゼネバに向ふべく林大使は日本代表者賀田男其の他と行を共にし駐佛日本大使石井子爵ら代表者として近くゼネバに向ふ筈なり（倫敦電報）

墺國の加盟請願
聯盟事務局に提出さる

ゼネバ十一日發電に依れば國際聯盟事務局は墺國より國際聯盟參加の正式請願書を接受せり（東京電報）

赤軍クリミヤに入る

露國勞農政府無線電信公報に依れば勞農軍は九日ウランゲル將軍の戰線を突破してクリミアに出でたりと（倫敦電報）

協定取消に同意
小幡公使の對支通告

小幡公使は顏外交總長を訪ひ軍事協定取消に對し日本政府は同意する旨を通告し同時に東支鐵道守備の爲哈爾賓浦鹽間に駐屯せる日本軍隊の問題は別に商議する事となれり（上海電報）

琿春事件から排日へ
東三省同鄕會の決議

在天津東三省同鄕會を當地の某學校校舍にて開催し琿春事件以來日本の横暴なるは實に東三省の死活に繫るを以て奉天黑龍吉林三省の學生聯盟成立を鼓吹し以て日本の行動を精査し是れを全國に傳へ張作霖に對し日本軍との契約實行を質し若し締結にし……

（天津電報）廣東なるは是れを拒絶し更に強硬なる交渉を開かしめ東三省に唱して日貨排斥手段を講ずべしと議せり（天津電報）

南北統一と陳氏

支那官界の説に依れば陳炯明氏は廣東に地位を固め南北統一に反對する事なかる可しと（北京電報）

內債發行の計畫
饑饉救濟に充つる爲

支那政府は饑饉救濟資金に就き外國銀行より良好の回答を得ざりし爲め今般關税附加税を擔保として四百萬弗の內債發行の議あり（北京電報）

アドリヤ問題
解決別報

タイムス紙の特電に依ればアドリヤチック問題は解決せり其の要點は墺國の國境問題はユウゴースラブ國に有利の解決を告げ
一、フユーメの獨立は之れを承認し其の國境は伊太利に隣接する事
二、ツワイラの宗教權は伊太利に歸する事
三、チエルソ、ルツシン、ユウニエの諸島は伊太利に屬する事
等なり（倫敦電報）

休戰條約調印
土國對アルメニヤ

土耳古獨立黨員とアルメニア共和國間は去る九日休戰條約調印されたり（倫敦電報）

愛國的演説に
祟れた大臣

下院勞働黨議員は聯合して愛蘭大臣メーリン氏を首相ヒユーズ氏の動議に依り議員の籍より除名したり右はメーリン氏がコルク市に於て愛國心に訴ふる演説をなせる爲なり（ミルボン電報）

セ軍作戰

カピテル軍及びセミヨノフ軍の渡しは協定の期限經過したるも未だ何等の回答無しセミヨノフ軍の第三軍はトリプイヤ停車場を攻圍しトリプイヤ流域に沿ふて同停車場に迫らむとする赤衛兵を擊退せむとしつゝあり（哈爾賓電報）

赤軍兵力集中

赤軍の正規軍はオルゾエアンネース方面に兵力を集中しセミヨノフ軍の兩側面を陷れむと企てつゝあり（哈爾賓電報）

庫倫奪還

蒙古最近の報道に依れば支那軍隊は叛軍を擊破して庫倫を奪還したりと（哈爾賓電報）

福州事件公文
交換を了る

十三日支南軍政府は福州事件に關する公文交換を完了し同事件は全く解決するに至れり（北京電報）

十月關税收入
六百五十萬圓

大藏省の調査に係る十月中の關税收入は六百五十九萬三千圓にて前年同期の六百三十七萬八千圓に比すれば二十一萬餘圓の増加なるが四月以降の累計は四千百五十七萬八千八百十五圓にて前年同期に比し……九百三十二圓に比すれば二十萬一千九十九圓の増加なり（東京電報）

英國綿絲輸出
商務院發表

十二日倫敦發電に依れば英國商務院は十月中の輸出綿絲一千三百二萬七千磅にて前月に比し百六十二萬三千磅の増加を見又綿布は三億五百萬碼にて前月に比し七千二百萬碼を減じ日本への輸出は五百七十萬六千碼にして前月に比し五十七萬碼……千五百碼激增を示せる旨發表せり（大阪電報）

炭價愈引下
十五日より實行

滿洲炭礦にては十五日より石炭値段を引下ぐる事に決定せしが塊炭の値段は現狀の通りとし粉炭一噸二圓切込炭一噸一圓五十錢宛の引下げとなれり從來需要が塊炭にのみ偏し粉炭、切込炭の滯積甚だしきを以て調和の計畫に出でたるなりと（大連特電）

中議團歡迎宴
首相の計畫

十三日夜來京す可き中議院議員一行の爲め來る十六日午後……より原首相は官邸に歡迎の宴を張る由にて各國務大臣、法制局長官、拓殖局長官、內閣書記官長及在京總督府高等官も列席す可く尚古賀長官も十四日夜手込……町の自邸に一行を招き一夕の宴を催す由（東京特電）

朝鮮米排斥か
勝手な內地取引所＝受渡米より除外せんとす＝鮮米聲價並に市價維持上の大問題

來る十八日より東京で開かれるのである乃ち內地の米穀不用……內地各米穀取引所聯合會の一重要議案として朝鮮米格附問題が附議せらるゝ事となつてゐる議案の骨子は多年實行せる朝鮮米を定期受渡米より除外して終うか若くば內地受渡し米と鮮米との格をウント縮めて非常に優良な朝鮮米でなければ定期の受渡しにかゝらぬやうにし朝鮮米を排除しやうと云ふのにあるらしく實に鮮米にとつては

重要問題

である乃で朝鮮總督府よりも政府に相當方法を執られるやう打電し全鮮米穀商聯合會も事態輕からずとて十三日農商務大臣拓殖局長官に定期受渡し米より鮮米の除斥さるゝ如き事なきは勿論格差の縮小をなさるゝやう配慮を求むる意味の長電を發した

何故の排斥
米價引上策か

何故に斯樣な問題が起るかと云ふに實に內地の米穀取引所及び一般民の得手勝手から來てる

朝鮮も豐作

殊に……米がドシ〳〵內地に安く入つて行くと云ふ事になると米價暴落の標調たる定期取引では價格の安い又米質の餘り優良ならぬ鮮米を第一具に賣り叩き益々米を安くすると云ふ氣味があるので實際上內地の米の安いのは朝鮮米の壓力のためであると恐れられてゐるこゝで此の

鮮米より定期の受渡米たる資格を奪ふか

若くば內地標準米との格を縮めて非常に好い米でなければ……らぬやうにすれば自然鮮米を……具に定期を賣り叩く事もなくなり米價も戾さうし全國の農家も喜ぶと云ふ譯になるのである乃ち遠回の

鮮米排斥案

は米價の向上を畫するにありはせぬ乎

唯一の財源

であり……ら努むべき事である然るに內地の取引所が受け渡し米として……しに排斥せん意向あり若しそうの實行さるもならば鮮米の仕向けは甚だしく……れだけ縮められ甚しく……んで來る不利は莫大なものであたかも一見大した事でないやうだが微妙な取引上の關係は鮮米を朝鮮地に陷れる殊に本年の如く豐作の時は軟調の鮮米は一層低落を餘儀なくする事となり一般生産者の受くる打擊は更に酷いであらう云々

鮮米の壓力
小池東拓參事談

內地朝鮮來城した東拓の小池參事は右問題に關する要旨は左にして本問題に關する要項を帶んでゐる樣だが曰く現在大阪堂島取引所の受渡し米たる鮮米中米と三等合格鮮米との格差は四圓五十錢であるがそれ以下一圓五十錢見當下格のものまでは受渡しに使用して差支ないから乃ち

六圓方の下格

米までは定期の受渡し米となつてゐる從つて隨分不良の鮮米も定期にかゝる事となる或る方面の意見では內地も十二限から受渡し米を三圓方格上げしたので（十一限までは大阪での鮮米格落ちは一圓五十錢乃ちそれ以上一圓五十錢下格可なりとして三圓）あるから鮮米も同樣三圓方の格上げをなす事は止むを得まいと云つてゐるました然しそれにしても鮮米には大打擊である何分內地米界に於て鮮米の壓力を恐れてゐる事は酷いものであり全國米穀取引所

聯合大會

の決議は色々の關係上政府を動かす力強く大抵認可さるゝやうだから相當大前に適當の策を執る必要があるであらうと思ふ尚は定期受渡し米から全く鮮米を除斥するやうの亂暴な事はあるまいと思ふが萬一さる事ありとすればその復活は中々困難となる云々

容易ならぬ問題
天日常次郎氏談

全鮮米商聯合會長天日常次郎氏は曰く實に鮮米にとつて容易ならぬ問題ですそれで共同に考慮は求めましたが形勢次第では當局者も亦盡力……必要があります鮮米を多く移出し內地移出を圖るのは朝鮮……

朝鮮當業者の盡力により獲得した特殊地位を失なひ

殊にその結果より來る鮮米の暴落は云はずもがな內地移出は一種の壓迫を受ける形となるのである

內地米は鮮米の定期受渡しを排斥すれば或は上らむやうが定期渡し米の除斥にも朝鮮米の聲價は低落して多大……

滿鐵の炭坑買收
塔連坑＝交渉進行中

滿鐵の塔連炭坑買收事件は昨今の返濟に窮し滿鐵に賣却せんとしたるものなるが滿鐵は同炭坑は大正六年三月の創立に係り資本金百萬圓（全拂込）にして其の實權は森格氏に在るも利用思はしからざる爲め遂に朝鮮銀行より少からざる資金の融通を受けたる折柄今春の經濟界の變動以來益々不況に陷りたるに加へて朝鮮銀行より返濟方請求酷しきより其の事件を秘密に附し居れり右に就き松本總務部長の談に依れば交渉は目下進行中にして近く發表せらるべきが本件に關し川上理事、山田興業課長等職せりといふは事實に非ず又中西副社長も賛意を表せることなし例令出來るとも明年四月なるべし（東京電報）

上旬鮮鐵運輸
荷動不振

本月上旬中に於ける朝鮮鐵道運輸狀況を聞くに旅客にありては本年に於ける氣溫例年に比し暖氣なりし爲比較的人出多く前年同期に比し幾分の好況を呈したるも貨物運輸にありては一日が明治神宮鎭座祭に當り全鮮を通じ休業せるを以て荷動を見ざりしと又六七兩日の降雨に依り出貨を阻止せられたる關係もありし加ふるに季節品の大宗たる米の輸送も目下の處小作米のみにて大口物の移動を見ざる等の關係に依り成績概して不況たるを免れざりと統計左の如し

乘車人員三十二萬一千九百六十三人前年同期に比し五千七百八十二人增、貨物噸數八萬六千百七十一噸同一萬一千七百五十四噸減、客車收入三十二萬二千五百五十四圓同三萬二千二百二十九圓增、貨車收入二十八萬一千五百四十四圓同二萬五千百六十三圓減、一日平均收入五十二圓十五錢同二圓九錢減

實行委員選出
電力使用者大會の其後

十三日午後京城公會堂に開催の京城電力使用者大會は議案たる金融に對する要求の件及交渉不成立の場合に處する件、申合せ遵守方法の件等を附議したる後實行委員として電力使用者を各業種により內鮮人二十五名を選出したり委員氏名左の如し

▲印刷業　橋本恒太郎、中島繁次郎
▲製材業　土井伊右エ門、松本豐作、横山幸七、森本吉助
▲精米業　今村伊三郎、朝鮮精米株式會社、執行猪太郎、李鳳烈、朴貫容、金謹德、成世豐、金之煥、崔獻然、東亞商工株式會社、石崎五四郎、金應純
▲鐵工業　二宮常一、龍山工作株式會社、早崎源吾、東生商吉
▲石粉業　須々木林次郎
▲醬油業　林金吉

埠頭事務所
落成式擧行

一千萬圓を以て新築中なりし大連埠頭事務所は愈々竣工したるを以て十四日落成式を行ひたり（大連特電）

和洋紙交換會
頗る好況

京城和洋紙賣買交換會は十四日午前十一時より京城公會堂に於て開催し府內印刷業者紙商七十餘名參會し和洋紙袋等の見本を出し種々重ね結果和洋紙其他一口の取引十萬枚の數に達するものありて盛況を呈せり

地主小作人紛議
京畿道の解決方針

本年は畓田作物一部水害地を除く外一般近年稀なる豐作なるに多數地主中には米穀價格下落に依る收入を補ふ手段として四年小作料の缺收を本年の豐作によりて補はしめ其他種々なる口實の下に苛酷なる小作料の徵收をなす如き横暴なる手段を講ずるものあるやにて之が爲め地主對小作人間に紛議を生じ又は發生の虞ある場合は農事獎勵の活動により未然に之を防止し又は內諭に其解決を告げしめんことを京畿道第一部長より管內各郡守に移牒したり

京取改制近からん

京城株式現物取引市場の取引期間延長並に手數料改正其他の申請は總督府參事官室の審議大塚氏出張のため延引しゐたるが最近進捗の模樣あり愈々近く許可の指令に接すべしと聞く

輸移出煙草數量

十月中に於ける京城府內より輸移出せる製造煙草數量は紙卷二千九百八十二萬三千本價格十八萬千六百七十三圓刻煙草百八十貫價格三千二百四十四圓也と

東拓北支義捐

東洋拓殖株式會社にては北部支那の饑饉救濟の一助として本支店を合せ銀五萬弗を本社より北京駐在帝國公使の手を經て寄附したり

水町大佐一行

參謀本部員水町大佐一行三名は重要任務を帶び某方面に向ふ途次十八日入城二十日出發すべしと

辭令
十二日附左の辭令あり

遞信副事務官　近藤礎郎　遞信吏員養成所長を命ず
同　志賀良三郎　遞信吏員養成所長を免ず
李王職典祀　李聖默　遞源殿勤務を免じ遞安宮勤務を命ず
同　尹進求　遞源殿勤務兼好殿兼務を命ず
總督府技師　於保八緒　總督官房土木部勤務を命ず
木浦公立商業專修學校長　浦添馬宗　木浦商業專修學校長を命ず

安取創立期

安東株式商品取引所は十五日株式の申込を締切り二十日確定の總會は十二月上旬に開かるべし（安東電）

府議選擧戰
龍山活氣付く
結束固し

龍山方面に於ける府協議員立候補者等も選擧期日の逐々切迫するに連れ漸く緊張し新龍山公會の有權者大和與次郎氏は十三日午後五時より太陽館に於て委員會を開き石原磯次郎氏委員長に押され十名の委員を選定し運動方法につき打合せの結果選擧の常務委員を置くことに決定し京城方面の襲擊を防止すべく新たに三角地の空月に事務所を設け當て水も漏らさぬ陣容を整へ四日より盛んに活動を開始せるが龍山に於ける有權者等の結束頗る堅固なるものゝ如し

除隊兵通過

平州步兵第七十七聯隊の除隊兵數百名は十五日午前三時五十分龍山驛着小憩の上午前七時五十五分發內地に向へり

貨物取扱時間變更

京城、釜山、仁川、平壤、市內等に於ける鐵道荷物取扱時間は從來午前八時より午後十時迄なりしが今般午前八時より午後八時迄に改めたりと

大田面長會議

大田郡廳にては十三日面長會議を開きたるが議題は森林計劃改正の件道地方評議員に關する件也しと（大田）

人事消息

▲満山公立農學校生徒十五名　佐藤校長引率の下に十二日午後來社各部を見學したり
▲岡本中次郎氏（農學博士）水原勸業模範場技師として十三日夜來京
▲中川大介氏（東洋商科醫學專門學校教授）十三日夜來城十四日夜發大連青島へ
▲高橋章三助氏（辯護士）上京中の處十三日歸城
▲藤山雷太氏　同十時北行したり
▲勝部次郎氏（平壤覆審法院長）十一時北行
▲小池英勝氏（東拓參事）十四日朝來城
▲藤井勇氏（鮮銀鄕家市支配人）十……
▲千葉了氏（京畿道第三部長）三日朝來城 竹部を隨へ廣州利川驪州各郡巡視のため十四日午前出發十六日午後歸任の筈なり

石佛寺へ
總督の動靜

新羅の古都に遊び柴田旅館に一泊したる齋藤總督は十三日午前八時四十分出發佛國寺に向ふべく守屋秘書官丸山事務官陶山通譯官及慶北道廳よりは藤川知事莊三部長其の他を隨へ五臺の自動車に分乘新羅始祖王の五陵を始め鮑石亭皇龍寺芬皇寺を巡覽し栢栗寺の下四面石佛の前にて記念の撮影をなし同十一時四十……

朝鮮有識者の教育令改正評（中）
內地學校との聯絡
普成高等普通學校長 鄭大鉉氏

今般朝鮮教育令の一部を改正し從來の普通學校修業年限四ヶ年を六ヶ年とし高等普通學校に補習科を設け內地の教育制度と聯絡を圖るに至りたるは我朝鮮の教育界に在る者は勿論朝鮮人全體の爲に慶賀して已まざる所なり抑々教育は民族の盛衰消長に至大の關係あり盛りに之を改正し施設するの不可なるは言を俟たざる所なれば總督府當局も深く思ふ所に鑑みて改正せられたるものならむと思惟す今回の改正は鳥渡考ふる時は聊か不徹底の感なきにあらざるも一方より觀る時は今回の改正が朝鮮人の教育令を完全に改正せりと云ふにあらず一時的に現下の應急手段として此程度に止めたるものにして引續き教育調査等の機關を設け完全なる改正の準備中ならば成るべく速かに完全なる制度の實施を待つのみなるも然らば如何に施設するが最も適當なるやと云ふ問題は未だ姑く論じ難き事にして余は未だ何等具體的腹案を有せず從來寺內總督時代の制度たる『朝鮮人をして日本人たらしむべき教育』の如きは諸外國の歴史に徵しても好結果を得たるもの少きが故に朝鮮には朝鮮固有の文化を增進し民族性を發揮せしむるに足る教育制度を施し內鮮共通に對する大方針大目的を存せるものは即ち最も適當なる教育制度ならむかと思惟す要に角今回の改正にて內地諸學校との聯絡し得るに至りたると學年延長されし其延長の程度だけ朝鮮人の智識向上さるべきは甚だ慶賀する處なり

▼驚く樣にメキ〳〵上達する
惡筆矯正の秘訣
▼何んな惡筆家でも忽ち見違へる樣な能書家となれる一切の秘訣を網羅す
▼苦心の大著

手紙を書いても碌に讀めない人には失はれ恥をかき損をする事があるものではない。それかといつて無暗に習字許りしたからとてそう俄に上達するものでもない。小野東運先生は多年苦心研究の結果、何んな惡筆家でも忽ち見違へる能書家となれる惡筆矯正の秘訣を大成した本書は其方法を誰にも分かる樣丁寧親切に説明したもので、實用向の書體、習字をする時の心得、手本の見方、字の三大秘訣、執筆法、腕の練方、勢、楷書の一般心得、楷書の基本点、筆法、筆勢の附け方、行書及草書の秘訣、運筆文字の書方、平假名及變體假名の書方、片假名の書方等に關する一切の秘訣が網羅してあるから、本書一冊あれば誰でも惡筆の矯正が出來て何んな惡筆家でも直ちに能書家となる事が出來る。尚附錄として ペン習字法 が附してあるから、ペン習字も同時に上達する事が出來る

▼本書は四六版二百數十頁 定價一圓五十錢 送料十三錢 前金は送料共一圓二十錢に割引す。ハガキで申込次第代金引替で發送す。(一千部限り)
東京麴町飯田町二ノ六六 振替東京四〇四三五番 三光社

必ず財力を成金
家庭副業講義錄
本社苦心の結晶に成る致富利殖の金科玉條たる本講義錄に依る副業を實行すれば金が成る木を庭や座敷に植ゑたと同じで黙つて金が儲かり當萬圓位の貯金は誰にも出來る問ひ見るに如かず先づ見本規則をハガキで申込ぜよ
東京市牛込區山吹町一四八 大日本家庭經濟社

京城府協議會員
立候補 大垣丈夫
南鮮地方旅行中十一日夜歸宅す府民諸君の御同情と有權者諸君の御投票を切に願上候

最新簿記講義錄
二ヶ月卒業、修了後會社銀行各大商店の事務員又は就職の紹介を盡す
規則內容見本無代進呈 東京芝區琴平町 大日本簿記通信學校

たれでもスグ易學博士になれる
古易占法秘藏
本書は斯界に名高い新井白蛾先生が初學者の爲に著はされた易學小筌を解釋したものである易學小筌と云へば誰ら知らぬ者なき良書であるけれども如何なる結果も判斷の仕方いかなる理由で何故かの問題を一つ〳〵つて判斷の決斷であるそこで吉田先生は深く之を悲しみ此處に此書をものされた...
前金注文は送料共金壹圓七拾錢
竹筭木各一組 五百名限り無代進呈
東京市牛込區通寺町二 竹生堂

赤い鳥
十二月號
▲救護隊……鈴木三重吉
▲ロビンの爺樣……小野田生
▲燕と時計……西條八十
▲蟹の王子……福田やす子
▲おぢい樣（兒童作）……前永良雄
▲葉つぱ（作曲）……成田為三
▲魚と水……水島爾保布
▲燈籠祭……小林須佐子
▲直太郎と狐……宮原晃一郎
▲寂しき魚……室生犀星
▲里ごころ……北原白秋
壹冊定價二十八錢・半年分…… 東京市外高田町目白 振替東京九四六 赤い鳥社

驚くまいことか
その音……その威力
朝鮮人も支那人も
避難取止めの事

藁人形を目標に 實彈の唸り

馬賊は來なかった 天長節祝日の祝盃 礎林少將の私信

右は渾春支隊司令官礎林直明少將より本社從軍記者たりし矢橋生に宛て寄せられたる私信の一節也、其後の渾春狀況を知るに便あるを以て抄録する事とせり

（前略）貴兄御出發後に於ける重なる出來事は第一、十月二十六日に於ける流言蜚語であつた、それは日本軍が老黑山に對し各方面より包圍攻擊に向ひたる爲め馬賊連が前地に居る事が出來ぬから山道を拔けて琿春の北方五里關門咀子の山林中に來た、其數千五百である、そして日本軍の

主力の不在に 乘じ再び渾春を襲ふ

計畫をして居ると云ふのである、里もある所に出掛けてさへ討伐しつゝある今日向ふさんから遙々來て戴いて、居ながら討伐させて下さるなら至極結構、願つたり叶つたりである、併し堂々たる日本軍の居る處に彼等が來る筈は絶對にない、

心配無用と耳 をも貸さずに居る

と城内の支那人連は騷擾として避難を始めると云ふ報告が來る、情況如何と出掛けて見ると成程其の通り、服裝美々しき有產階級と思はるゝ老若男女が貴重品や馬具やらを携帶し或ひは馬車或は徒歩にて陸續渾春川を渡り南方に避難する、其理由を聞くも片言混じりの支那語故解らず不明白である、

日本軍の居る 町に馬賊が來るか

と心配して逃げるとは惜々御苦勞な次第勝手にしろと拋て置くこさしも繁華な城内は火の消えた樣になつてしまつた、翌日になると兵站部で荷物を輸送する馬車が一向來ない之は大變だ何とか彼等が日本軍を信頼し馬車を出す樣にして貰ひ度いと兵站部からの嘆願だ、茲に於て先づ我軍の威力を示し

彼等に安心を 與ふることが必要

なりと考へ夫れには我が大砲の威力を示すに如かずと評議一決し愈々砲兵射擊をすることゝなつた、第二三十八日には愈々支隊にある野砲山砲重砲各種大砲を○門宛を領事館西側畑地に排列し一方山上には多數の藁人形を並べ千八百米突の距離にて榴彈榴散彈取交ぜ或は曳火或は着發と射擊した、（本件は

豫じめ地方に 通告して置いたから

見物人黒山の如し）射擊に標的たる藁人形は前後左右に飛散轉倒或は粉碎或は燃燒す、藁人形の諸切つて始めての砲兵射擊を實見し其威力に驚き、是では如何な馬賊も日本軍には近づくまいと愁眉を開き、是れが爲め避難民四方より歸來し流言蜚語を絶ち馬車も澤山集まり軍需品の輸送に支障無きに至つた、この狀況は貴兄に見せたかつた、必ず手を叩いて喜ぶ事と思ふ、第三天長節祝日には午前十一時支隊全員領事館前畑地に集まり

宮城に向ひ 君が代喇叭吹奏

遙拜式を爲し正午には將校下士卒一同一堂に會し高級者の發聲にて聖壽の萬歲を三唱し祝盃を擧げた萬歲の聲は眞に琿春城を壓するの慨があつた、第四十月二日牧討伐隊老黑山の馬賊根據地を剿討歸還、討伐中の苦心慘澹非常なりしも一同志氣極めて旺盛、患者の絶無なのも推しても察せられやう、茲に琿春御滯在中の御精勵に對し深厚なる謝意を表し併せて將來益々邦家の爲御盡瘁あらん事を切望す（十一月三日發）

除隊の朝 奥田旅團長の見送

二千名に近し

間島地方の情勢 歸順を申し出た鮮人

外務省發表去月三十日より十一月二日に亘る四日間間島地方朝鮮部落に於て日本に對し歸順を申し出たる者六ケ村一千八百九十八人に達し尚續々歸順を申出づる者あり（東京電報）

惜別の涙を堪へて

左樣なら、萬歲……と 住み馴れた龍山を後に 歸り行く除隊兵

除隊日たる十四日は午前二時三十分と云ふに龍山步兵第七十八聯隊は堀田聯隊長以下各大中隊將校下士見送の裡に住み馴れた龍山を後に汽車の窓々から名殘を惜み萬歲聲裡に出發した又步兵第七十九聯隊及び騎砲工特科隊は午前七時五十五分龍山驛發內地に向つた是より先き山驛頭は奥田步兵第四十旅團長を始めとし各隊長將校下士等百餘名に軍及師團司令部よりの見送り將校等肌寒い晚秋の朝風に吹かれつゝ驛頭に集まり除隊兵卒は支給された眞新しい軍服を著し濃い茶褐色の折目新しい服を著し驛前に二列に整列し奥山少將の告辭あり萬歲聲裡に列車に乘込み惜別の淚を浮かべ軍帽を右手に翳しながら頻りに左樣なら失敬の叫びに列車の姿は消へて行つた

植物のお醫師さん

朝鮮は昆虫が多いから 精々研究するつもりだ

―新に水原勸業模範場技師に轉じた 岡本農學博士語る

札幌農科大學教授より水原勸業模範場技師に轉じ十三日夜着任せる農學博士岡本半次郎氏は列車中にて語る（博士は病理昆虫學のオーソリチーにして溫厚の篤學者、其態度と云ひ話し振りと云ひ眞に學者の風あり）私は全く朝鮮は始めてゞ眼に觸るゝもの耳に聞くもの何れも新ならざるは無く、列車中更に退屈を感じませんでした、私は病理昆虫を專攻したので謂へば植物のお醫者さんであつて人間のお醫者さんのやうに華美な仕事をして居りません

朝鮮の昆虫 に就いて語ります

前後二十年も北海道生活をしてゐたので朝鮮に流任するにしても全く白紙なのを遺憾として居ります、朝鮮の昆虫は標本を以て研究しただけでありますから適確な事は申されませんが朝鮮の昆虫は種類が多く研究するのにも餘程興味が深いやうに存じます、平壤附近の昆虫は總て歐羅巴のと同じであり南鮮地方のは印度地方の昆虫と同系統です、又亞米利加の昆虫

林檎の苗木 に附著し

輸入されて居りますから、昆虫の類に於ては內地と比較になりません、北海道に亞米利加の昆虫の多いのは同じく林檎の苗木に附著して輸入されたのです、五六年前、やつと植物試驗場が出來たので昆虫の輸入を防止する事が出來ましたが、朝鮮でも出來るだけ

昆虫の輸入 を防止し

たいものです、朝鮮は北海道に比して林檎の栽培には適當な土地で、朝鮮產のやうな美事な林檎は北海道にありません、米國から林檎の輸入が禁止された以上朝鮮產の林檎は

內地に歡迎 されます

從つて昆虫の研究も勢ひ盛んになる事でせうと云々

日本の人口は 五千六百萬?

女が多くなるたらう 國勢調査の結果

國勢調査の結果は新年の御用始めに先き立ち一般に公表するやうであるが最初の發表せる世帶及人口の概要を記入せる四六二倍大の百數十頁の相當冊を印刷して準備怠らないが各道府縣は一々全國各町村に配付するとの事であると十三日調査局の二階堂調査課長は語る

『新聞紙上で地方からの電報を見ると大概戶數は增加して反對に人口が減少して居るが是は當然の結果で從來は先づ戶數の方は各市町村が世帶の代りに戶數だけを調べたから戶數割の課稅を一般戶數に宛て報告したからである。私の見る所では五千八百萬と唱へられて居た我國の人口は五千六百萬位に低下さるだらうと思ふ尙愛に興味ある問題は男女の數であるが米國は兎に角歐洲各國は何れも女が多く就中英國は其の代表と呼ばれて居たが此の現象は男が多く生て男が多く死ぬからだと說明されて居たけれども如何うしても男が移動性的のことが主なる點であらうと云ふ其の證據には新しい國米國の殖民地では男が多くて女が尠いのである我國は從來本籍人口の調査に依る女百に對し男百の割であつたが今度の調査は本籍人口の調査なのである今度の現在調査の結果は人口は從來の位置を顛倒して男より女が多くなる現象を示す模樣である』

珠算競技大會

郵便爲替貯金管理所主催 纖細な技巧 美しい興趣

有志の出場を歡迎 官廳銀行會社其他何れも問はず

珠算競技會こんな企てが此んど郵便爲替貯金管理所の主催の下に來る二十日午後一時から開かれると言ふ。美しい菊花の薫りに浸りながら私達の前に公開せらるべきこの特殊技術の競技會が一般公衆の心を喚るばかりでなく同じ事業の系統に携つてる人々のため好い參考であることは言ふまでもない。

而してこの公開的競技會は朝鮮としては極めて珍しい企てであるから其の技術の習熟からほとばしる生々とした新しい力の躍りを見ることは一種の感興を誘ふに充分であらうと思ふ

音ふまでもなく纖細なる指頭の技巧と銳感なる理智の働きに待たればならぬ此種競技が奔放な戶外的競技と趣を異にしてあるは明かで水のやうな靜寂な空氣を縫ふ小さい音波の流れ、若い顏の輝きと白い頸類の紅潮は見るから美しい興趣の一であり珍らしい近時の會合として有意義なものの一であらうと思ふ

未だ其內容について確定したことを聞くことを得ぬが、只單調なる寄せ付早算の如きものゝみでなく事業の內容を象徵すべき珠算關係の珍趣向多きは勿論手に汗を握らすべき源平對抗競爭選手リレー競爭其他稱ふべき妙技の數々はあらゆる社會階級の人々を通じて興味の新なるを覺らしむるに充分であると思ふ

しかもあと一週間を控へた同所從事員二百有餘名はこの美しい舞臺に平素鍛錬された腕の冴えを示すべく猛烈な練習に寧日もないと言ふその緊張した空氣の中に一日一日と待ちこがれてゐる晴れの舞臺の華やかさが今から思はれる

秋晴れの半日光化門通りに時ならぬ花を咲かする珠算競技の開催！而も京城各銀行會社等計算事務の系統に立てる腕自慢の選手は言ふに及ばず更に民間有志の參加多數なりと言へば當日の光景想像に難からざるべく近來の興味ある會合と言へる

競技の細目其他については目下各委員の手に取定め中で二三日の內に詳報することが出來ると思ふ。尙ほ主催者側として此際成るべく各種の方面を網羅し盛大を期して居るから參加希望者は直接同所宛て申込まれたしとのこと

日支人の 四人强盜

自殺者の短銃で威す

十二日午後十二時頃安東縣四番通り九丁目支那人雜貨商陳灼泉方に四人組の短銃强盜闖入したる旨急報に接し李刑事は直ちに現場に急行し其內一名の逃走れたる者を取押さへ嚴重訊問の結果此一味は熊本縣生れ當時安東二番通り六丁目三番地大工石井政吉(三)大分縣生れ當時七道溝永來組［illegible］奉天省生れ孫有薬(三)山東生れ李純光(三)の四名にして去る十日も商家へ侵入現金四十圓を得たることも判明したり尙ほ餘罪ある見込にて取調べ中なるが短銃は嘗て大和橋通り岡村洋行に於て組の客間に失敗して自殺したる武田義久の屍體より前記國友が盜み出したるものなることを自白したり（安東特電）

日出小學校の學藝會（寫眞は桃太郎の鬼ケ島征伐）

霜氣凛たる日 少年野球大會

白熱した豫選試合 京中軍優勢……

朝鮮體育協會主催の少年野球大會第一日は十四日京中運動場で擧行された此日朝來陰鬱北風荒く絶好の野球日和とは行かなかつたが各選手は試合前より猛烈な練習をつゞけ意氣揚然たるものがあつた午前十時京中一二年、西大門高一二年、元町小學校の順序にて入場式を行ひ櫻井體育協會理事の挨拶終つて直ちに豫選第一回戰に入るべく京中一年、守備に就けば櫻井理事第一球を投じ始球式を終了し試合に入る乙組は西大門軍の先攻に始まり第一回戰京中乙組對西大門第一回に一點を入れたが中學軍第一回に一三に五點を入れ意氣高らう揚り守備益々堅固なるに西大門軍は四回目に更に一點を入れしも京中軍二回二點三回目に一點四回に一點を入れし爲西大門軍の投手體球を弄したが遂に九A對一で西大門軍の慘敗に歸した兩軍のメンバー次の如し

西大門（乙組）投村田 捕物部 一黒田 二松下 三平家 遊林 左松 中旅 右藤
京中（乙組）投藤 捕上 一湖 二鈴木 三淵永 遊宮林 左大塚 中石林 右［illegible］

甲組の試合は第一回戰京中甲組對鐵道學校鐵道軍先攻に始まり京中軍一氣に五點を奪つて優勢を示し第二回鐵道零京中一三回鐵道軍二點中零、四回に至つて鐵道軍四點を入れて頗る意氣あり試合は益々白熱化したが中學軍の攻擊銳く鐵道軍の死守も其効を奏せず五點を與へたので十一A對八で遂に鐵道軍の敗に歸した、兩軍の攻守備共に堅實最後までよく戰かつたのは嬉しかつた兩軍のメンバー左の如し

鐵道 三遊 捕投 左右 一中 二
本田 松田 黒田 山田 和田 丸山 山高 宮坂 後藤 中松 上田 水田
京中（甲組）遊左 二捕 三一 中右 投

全國社會主義者大會

日本社會主義同盟は來月十日午後一時神田青年會館に社會主義者の會合を催す事に決し十三日全國同志に檄を飛ばしたるが右會合の資金に充當するため當局の諒解を得て十四日午後一時ブツクデーを東京に開催し市內目貫の場所にて堺枯川大庭柯公外十數名の社會主義者の著述せる書籍を販賣する由なり（東京電報）

英飛行家渡日

大西洋摩無著陸飛行に於て勇名を馳せたる英國飛行家サーアーサーブラウン氏は十日英領加奈陀晚香坡解纜の加奈陀太平洋汽船エンプレスオブエシヤ號に便乘し渡日の途に就けり氏の今後の行動に就ては不明なり（晚香坡十日發電）

愛婦朝鮮本部の講演會

愛國婦人會朝鮮本部にては來る十五日午後一時半より南山町三丁目同本部會堂に於いて講演會を開催すべく一般有志の多數來聽を歡迎する由なるが其の演題並に講師左の如し

國境警察官、憲兵の家庭狀況 警務局警務課長 國友尚謙氏
憲兵司令部副官 三浦惠一氏
小兒の營養に就て 總督府醫院長 志賀潔氏

吉備舞樂會

大伯丈夫山本正三氏其他にて京城に吉備舞樂會を組織し吉備舞樂の宗家尾原晋八氏を招聘しその試演會を今十五日午後七時より京城南山町京城ホテルに於て開催の由

○將校夫人園遊會 龍山步兵第七十八聯隊長堀田大佐夫人は十三日午後一時より將校夫人數十名を招待し安山公園に於て園遊會を催ふしたり

運動界

日本選手參加 レブイス賞牌戰に

東京の庭球協會と米國の庭球協會役員との間に協議行なはれたるが日本選手は明年レブイス賞牌戰に參加し得べき事となれり庭球氏は日本に歸りて後庭球協會を組織すべく明年度に於て完成せば明年度の前記賞牌戰に參加すべしと（紐育十一日發電）

上京中の處十三日歸宅致候
京城仁寺洞百三十六番地 特許辨理士 高橋章之助 長電話二五六番

富會社ハ非協定外國會社ト再保險ノ特約ヲ有シ時勢ノ要求ニ鑑ミ共濟主義ノ下ニ公益的精神ヲ以テ巨額ノ契約ヲモ一手ニ引受ケ可申候
(非協定)日本共立火災保險株式會社
京城代理店 主任 橋本茂雄
京城本町四丁目百十二番地 電話二八二七番

DOGS BRAND NUTRILOGEN
弘田博士外五博士實驗推薦
各醫科大學各專門學校御用
大印 滋養糖
說明 牛乳にて小兒を育つる場合小兒の體質を强健にし肥大ならしめんとせば本品を混用して完全なる榮養を與へらるべし
各藥店 取扱
京城本町一丁目電話九九番
和光堂京城支店

拜啓時下秋冷の候各位益々御隆昌の段奉欣賀候陳者私共各自代理店經營中は格別の御懇情御引立を蒙り難有御厚禮申上候今般兩社の承認を得合同の上合名會社商郵木浦代理店を組織し本日より業務繼承致し候間何卒倍舊の御愛顧御引立の程偏に御懇願申上候 敬具
十一月
大阪商船株式會社 朝鮮郵船株式會社 木浦代理店
合名會社商郵木浦代理店
代表社員 福田有造
代表社員 山野瀧三

京城府協議會議員
公認候補大和與次郎君
右最適任ト認メ同君ヲ推薦ス
龍山有權者

チルドレ車輪
在庫品豐富
大阪市難波小田町
福岡鐵工所
電話四六八 〇一九 二六六 一七

嗚呼皆サン月日ノ立ツノハ早イモノデ又々繁忙ノ季節ニナリマシタ
一日モ御早ク御用命ヲ願上マス
元祖紙函製造所
京城長谷川町 鼎商會 電話九一八番

べつたら漬大賣出し
京城東京地漬 澤庵漬込みに應ず
京城 島屋漬物部 電話九〇三番

第一期營業報告

貸借對照表（自大正九年三月四日 至同年八月三十一日）

借方

科目	金額
未拂込株金	七五〇、〇〇〇、〇〇〇
特許權	一〇〇、〇〇〇、〇〇〇
土地	六五、〇〇〇、〇〇〇
建物	二三、九一〇、〇二〇
製粉工場設備	一九、八〇〇、〇一〇
機械器具	二三、四七〇、二三〇
什器	一四、三九〇、五三〇
受取手形	一、五二一、二四〇
假拂金	七、五六三、三七〇
製品	［illegible］
原料品	［illegible］
貯藏品	［illegible］
保證金並組合出資金	［illegible］
未收入金	［illegible］
資掛代金	［illegible］
工場勘定	［illegible］
銀行預金	［illegible］
現金	［illegible］
合計	一、〇四八、〇二〇、五三四

貸方

科目	金額
資本金	一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
支拂手形	［illegible］
假受金	［illegible］
未拂金	［illegible］
他店勘定	［illegible］
當期利益金	［illegible］
合計	一、〇四八、〇二〇、五三四

損益計算

收入ノ部	金額
營業收入	［illegible］
雜收入	［illegible］
補助金	［illegible］
合計	［illegible］

支出ノ部	金額
營業費	［illegible］
雜損	［illegible］
創立費償却	［illegible］
合計	［illegible］
差引當期利益金	［illegible］

當期利益金處分左ノ如シ ［illegible］

大正九年十月二十一日

朝鮮產業貿易株式會社

取締役社長 ［illegible］
取締役 ［illegible］
監査役 ［illegible］
相談役 ［illegible］

荊妻儀豫て病氣の處去る六日午前一時二十分仙臺東北大學醫院に於て永眠仕候間生前辱知の諸兄姉に御通知申上候

追て葬儀は去る九日［illegible］執行仕候

大正九年十一月十四日

岩田太郎
二女 岩田清子
四女 岩田芳乃
親 岩田義治
成 辻本孫三郎
友 黒川清太郎
人 尾関幸太郎
松本正寛
代 山野上良次郎
總 森光枝
淵澤能惠
宇田龜吉
熊野惠陽

マジエラン祭に 米國艦隊を
日米交換教授
大阪株式特電
大阪三品特電
天氣豫報

大邱の逐鹿界
今明日には旗色鮮明せん
呼聲高き候補者の下馬評

大邱府協議員の選擧戰は頃日來形勢混沌として雖然立候補を宣せるもの尠く爲めに具體的活動を見ざるが今明日を經ば旗色愈々鮮明となり敢戰愈々白熱化さんこ期待さる、現在に於ける顔觸れを觀れば坂本、永井、山中加藤、古藤の諸氏の外に光成氏の名乘りを擧けるのみなり坂本氏は本町一二丁目及び山口縣人會、元町、東城町方面を根據こし盛んに運動しつゝあれば得票頗る多數にして當選すべく一般に觀測され居れり永井氏は錦町、元町、大邱驛方面に活動しつゝあれば氏が敢戰場裡老謀の猛者こして神變鬼謀端睨すべからざる者あり帷幕また多士濟々を誇りあれば當選確實なるものゝ如し、山中氏は敢戰場裡初陣こ雖も帷幕を參ずる謀士の苦心一方ならざるものあるが如きも氏が公共事業に盡碎し來りたる過去の功績埋沒すべからざるものあり聲望高きを以て有權者側にありては寧ろ何等の運動をなさずこも淸き一票を氏の爲めに投ぜんこ希望する者尠からざるを以て、各候補者中に有望視せられ居れり、加茂氏は大分縣人士木業者間に動かす可からざる地盤を有し居れるを以て氏の參謀連は頗る樂觀し居れるが如し、古藤氏は福岡縣人の後援あるに併せて金融業者側及一部鮮人間にも諒解を得居れば樂天組の一人ならん、光成氏は氏の承諾を得ずして殖物組合及其他周圍の人によりて運動を開始されし程にて愈立候補を宣するや運動者に一府神の乘りたる觀ありて如何なる堅陣をも粉碎し去らんこするの慨あり、電燈會社系にては小倉武之助氏候補を固辭し居るを以て內田氏を推さんこ計りあり目下交渉中に屬するが今明日中に決定すべし德島縣人有權者は先般來濵野氏を推し勸誘努むる處ありしも此は頑齢の故を以て固辭したるを以て十二日に至り江崎恒人氏を推すに至りしが氏にして若し辭退する事こならば縣人は一致して再び濵野氏の前度に從ひ他を推すに至らん佐賀縣人有志は同縣人中より一名の候補を推さんこ協議中なるも白羽の矢は大浦善七氏に向け居れり氏若し承諾して愈々陣頭に馬を進めんか猛烈なる運動を開始すべき形勢にあり（大邱）

馬を陣頭に進め名乘を揚たる者
仁川では既に廿名
運動日に熾烈を極む

仁川府に於ける府協議會員の選擧戰も愈々一週を餘すのみこなりたるより各候補者の色彩も逐日濃厚こなりつゝありて東奔西走せる運動員も漸次增加し競爭日に熾烈の度を加へつゝあり目下公然名乘りを擧けて熾に運動に着手し居れるは內里團及大分縣人會を根據こせる後藤連平氏縣人會町內及仁川有權者有志の散票を得べく畫策しつゝあるは白神專一、田中佐七郎、阪倉伊平、美濃谷榮次郎、和田友太郎、增田定吉、中條榮造、淺井八重藏、北島筆三の諸氏にして平山松太郎氏は例に依り水產會社側關係者を土臺こし川添三次氏は久しく病臥中なるも太田忍氏參謀こなり運送組合側より出馬すべく河野竹之助氏は輸移入者側より立ち最も優勢なりこ觀測さる加來榮太郎氏は運動までして出馬の意志なしこ聲明しつゝあるも仁川の元老こして有權者より推選され當選せば敢て辭退せずこの事なれば先づ色氣のあるものこ見做されて居れり大石秀吉、吉田秀次郎、野口文一の三氏は立候補を辭退せりこ傳へらる又鮮人側は別に目立たる運動を開始せるものを見ざるも出馬確實こ目されつゝあるは丁致國、吳昌祖、沈能德、朱命基朱明瑞、張錫佑の六氏なれば目下確實なる立候補は十六名の定員に對し二十名なるが前例に依り立候補を辭退さる向きあるも秘密裡に飛躍して間際に至り愈々明日切迫せば猛烈なる競爭を見る事なるべし（仁川）

木浦の立候補
內鮮人半々
地盤切崩の運動猛烈也

木浦に於ける府協議會員の選擧は期日の切迫こ共に愈々猛烈こなり昨今內地人側には新に立候補を聲明したるものあり結局十二名の選擧に對し內地人側は十人鮮人側は九人合計十九人こなりたるが間際に至り突然立たんこする者ある模樣なれば各自地盤の守備に忙しく間際あらば一票にても他を崩さんこ夜を日に繼いでの活動眼ざましきものあり茲兩三日に大勢略決せん（木浦）

大田學校議員
補欠選擧

大田學校組合會議員補缺選擧は既報の如く十一月十日無事終了を告げたるが缺員五名に對し六名の立候補ありし爲め投票の前夜は各候補者の參謀連は敵の進擊防禦に努め白熱的競爭を繼續し大田有史以來嘗つて見ざる處の混戰なりき開票の結果永野廣次（鐵道）荒瀨尼重（五區）須々木翊次郎（二區）成松宇多吉（一區）藤井松弌（三區）藤本清（四區）の諸氏當選したり

晉州の選擧
運動に著手

晉州の選擧形勢は漸時進陣の狀況を示し清水氏は商友會北川氏は第一區上村氏は官吏側を基礎こして立候補を發表すると共に猛烈なる運動を開始し原田定造氏も有志者の推薦に依り出馬の腹ひなく十日より白兵戰に入り各候補者は馬を陣頭に進め大飛躍を開始せる故晉州有史以來の大競爭を見る雲行きである鮮人側は選擧を理解せざる傾きがあり隨て內地人程に氣乘せざる模樣であるが十日頃より暗中の飛躍を試みつゝある樣であるから競爭は相當に激甚を極むるに至るべし（晉州）

安東提出案

來る二十四日より三日間大連に於て開催する滿洲商業會議所聯合會に提出すべき案件に付九日會議所に於て役員會を開き協議したるが左の二件を提出する事に決定せり（安東縣）

一、東洋拓殖會社に對し不動產擔保貸付を積極的ならしむべく要望の件

一、支那海關日報等の輸出入統計表數は益の外銀額をも發表されん事を支那當局に要望の件

一大接戰を現出せん
愈斥候戰開始さる
鮮人側は內鮮融和會の讓歩で候補者四名を物色中

既報の如く釜山府協議會員選擧界其後の情勢は日々濃厚の度を加へ各候補共策戰に準備整ひ各所に斥候戰は交へられ各運動員は東西奔走一票も洩らさじこ得票の爭奪に忙しく樂觀の向きは地盤を固めて只管敵の侵入を防ぎつゝ勢力範圍に屬する得票を散逸せしめざらん事を期し形勢不振なる向きは八方に奇兵を放つて獅子奮進敵陣切崩しの戰法を取り虛々實々の秘術を盡し各所に白兵戰はしかれ茲數日を出でずして一大接戰を現出すべき大勢にありて既に各候補の有權者戶別訪問は開始せられ候補同士の鉢合せの滑稽なる演ぜられつゝある模樣なるが十二日迄に公然名乘をあげ確定的の公認候補者の氏名左の如し

坂田文吉、大池忠助、迫間房太郎、水野巖、小林一郎、幸野小平、小宮萬次郎、香推源太郎、武久捨吉、石原源三郎、戶塚巳之助、蒲田椿樓

尙此外同業組合或は同縣人會により推薦せられ出馬を噂されつゝある者に

山田惣七郎、山野秀一、榎本阿律美、野方源治、荒井信之、松本小三郎、福島源次郎、佐谷祐次郎、原田龜吉、品川德淑

の數氏ありて今明日中には態度決定を見るに至る可く愈々混戰狀態に陷り釜山の天地全く選擧氣分に掩はれ暗雲低迷して凄氣滿々たるの觀あり鮮人側にありても一時結束して一名の候補をも出さざるなこ傳へられしも既報の如く內鮮人融和懇談會の一大雅量による讓步の結果好感を以て迎へられ四名の候補者を選出せしむる爲め夫々公認候補の物色中この報あれば今明日南部を見るに至る可し尙選擧立合人は理事者に於て該選擧に全然關係なき筋に依囑せん意向にて目下人選中の由なれば是れ亦近々決定を見るに至る可く選擧所は西町幼稚園、時日は二十日午前九時より午後四時迄こ決定公表せられたり（釜山）

仁川の在郷軍人に注意

陸軍々人服役令施行規則中改正せられたる爲め朝鮮に於て大正十年度勤務演習を受けんこする者は來る十一月三十日迄に在留地勤務演習應召願を第二十師團長に願出を要する事こなり居れるが仁川府內居住者にして應召者は十一月二十九日迄は仁川府廳に於て受理する由（仁川）

肉類も賣れる
大邱では一日平均一千五百圓こは一寸驚く

追々冷氣の加はるこ共に魚肉の危險もなく平常の需要を喚起するに至り一方獸類も又た消費量を增して來た十月中の大邱屠殺數は牝牛七十八頭牡牛二百廿八頭牝馬一頭、牡馬一頭牝豚十一頭牡豚六頭合計三百廿六頭で食用に供する目方は牛が一萬三千六百九十四貫八百匁、馬が四十四貫、豚が三百四貫八百匁合計一萬四千四十五貫百匁こなり一日平均四百六十八貫七十匁此金高一日平均一千五百四十三圓五十一錢五厘の多額を示せるは一寸驚くべきである（大邱）

釜山客月金融
鮮銀釜山支店調査

月初め內地米作第二回實收豫想增收の發表せらるゝや前月來三十圓見當より漸次軟弱の傾向を辿れる米價は更に慘落の機を發し下旬に入り二十五圓臺を破れ月末漸く二十七圓迄引返せり爲に內地移出は與及昆野縣方面の工場地へ白米の小量賣出しを見たるこ久々冬季食糧準備の爲乎常離方面へも可なりの賣出を見たる外地場に於ても需要者は豐作に依る先安懸念に買手持を警戒し各方面共取引捗々しからざりき

▲大豆は各地の引合に小康の狀態を維持し相當の移出行はれ在貨減少せり

▲綿絲は內地の相場悪化し一時二百圓見當に奔落せしも月末に至り二百七十圓こ反撥せり

▲綿布は滯荷の關係上相場下押しの一路を辿り增加の傾向を示せるも何分奧地購買力の減退こ商人の信用失墜せる關係上總て取引警戒せられ貿易に活況を帶ぶるに至らず

▲商況上述の如くにして引續き金融至つて閑散の狀態を示し當店の資金關係に於ても前月末に比し貸出し金約二十萬圓預金約千餘萬圓增加を見たるに過ぎず前途は近く出穀期に入り漸次繁忙を呈すも四圍の狀況より推して頹廢せる人氣の更改は困難なるべく未だ俄に各方面の活況は望み難かるべし（釜山）

全鮮より多數の出品集らん
清州聯合物產品評會に

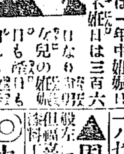
忠北淸州、槐山、鎭川、陰城四郡聯合物產品評會は既報の如く來る十五日より開會の筈なるが山崎淸州郡守は此品評會を一層有効ならしむべく內務、殖產、省及び各府縣に照會し社會改良產業獎勵に關する參考圖書を鮮內各道及廳並に恩賜授產機業傳習所、種苗所よりも參考こして多數の出品方を請ひ又品評會附屬事業こして施設したる教育學藝品展覽會には鮮內各道小學校普通學校兒童成績品を多數出品することゝなれり農事の參考品に就ては內地富豪者より寄贈を受け其の種類數百種に及べり棉花の參考品は鐘淵紡績株式會社、大日本紡績會社等にして其の種類數十種に達せり農產物種子、已製品等は鮮內各方面より多數寄贈を受け是等の物品は大半到着したるも尙途中輸送中に係るものもあり出品物は之を第一類より第十一類に區分し然して其の出品豫定點數は

第一類穀菽類二千二百五十點第二類特用作物八百六十六點第三類蔬菜九百十五點第四類果實三百六十八點第五類畜產百五十點第六類林產五十二點第七類畜產百十點第八類工產四百九十一點第九類穀苗六十點第十類競技(繩叺)七十點第十一類參考品(聯合郡生產)百六點にして約六千點に達せり（淸州）

○木浦商業校長　木浦公立商業專修學校長は創立以來缺員中の處今回內地より浦添爲宗氏同校教諭兼校長事務取扱を命ぜられ本月十日著任せり（木浦）

○判任官見習見學　總督府判任官見習三十七名は開城〔以下判讀困難〕

輸出毛布の暴落
毛布 半價發賣
東京市日本橋區本石町一丁目毛織物問屋關谷商店が蘭領印度へ輸出毛布殘品整理の爲め特別割引 一號毛布を只の一圓九十錢二號毛布を只の一圓五十錢と云ふ破天荒の廉價此の毛布は純毛製なりと誇る品より以上の上等良好品也而も旅行用として又貸物用として一日も無くてならぬ日用品也但し此數一萬枚限りの品切なれば希望者は賣切らぬ內御申込ある方が得策なるべし御註文物や退色品でなしチャキチャキの新製品にして毛布の工合最も良き者也責任保證す

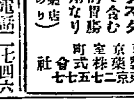
女の姙娠日は一年に四節

▲姙娠日の前後を知ること晩日の習慣 萬物總て春秋に姙娠あるが如く女にも必ず姙娠日あらんと著者多年實地に研究中の處愈々著作せり是によれば女は一年中姙娠日は僅六十日にて不姙日は三百六日なり〔以下判讀困難〕
東京市赤坂青山北町七ノ二二 振替東京九七五番 青山堂

京城本町一丁目郵便局横
中村眼鏡店
電話二三一七番 振替京城二四三番

京城府告示第二十號
京畿道高陽郡龍江面阿峴里所在阿峴火葬場修繕ノ爲メ使用停止中ノ處本日ヨリ其ノ停止ヲ解ク
大正九年十一月十五日
京城府尹 齋藤禮三

購買廣告
一、白牛木綿 壹千反
右供給希望者ハ本月十五日以降ノ朝鮮總督府官報ヲ見ルヘシ
大正九年十一月
朝鮮總督府 光州監獄

目ニ見ヘテズンズントキクシマズイタマズ
井上博士 ロート目藥
目病を、不潔い布や指頭で擦るのは、目の爲に悪いからロート目藥は消毒した布こ、下圖の樣な新案の點眼器を添へてある
全國各藥店にあり
定價 中瓶三十錢 大瓶五十錢 小瓶二十錢
本舖 東京・大阪 山田安民藥房

胃腸に
ゴルフ

ゴルフはタカヂアスターゼを含む理想的胃腸消化劑なり（各藥店にあり）
定價 五十錢 一圓八十錢
發賣 東京室町 京華製藥株式會社 振替東京二七五七七

京城古市町電話二七四六
畑硝子工場
主 畑 六
其他一般の御注文に可應候

京日案內
春川行賃貸車 京城黃金町二丁目 小江自動車
支那語教授 生徒募集 京城郵便局隣
貸家
賣地
女中入用
社員募集
恩給年金 大陸工商社
九ツ玉
江州屋本店
毛皮なめし
古本高價買入 群書堂
男女社員入用
寫眞見習生入用 京城寫眞館
店員入用 酒井運送店
尋犬 鈴木

婦人病が安々と
自宅治療が出來る
高級婦人藥
命の母
早く服用して幸福となられよ

▲氣の知れぬ我慢
これから寒氣に向ひますと、それでなくとも冷性の婦人は非常に苦痛でありまして、ソレ腰布團ソレ綿入といふ工合に並大抵の事ではありません。又こしけのおりものに二六時中身體の加減の悪い婦人は、愈健康を害し益々不快の月日を送らねばなりません。この樣に毎日々々苦痛に攻められながら、たゞ口ばかりで「あゝ、あゝ」と溜息ついて居て、少しも早く此の苦痛を根本からサッパリ治さうとなさらぬ御婦人の多いのは何といふ御損な御性分でせう。

▲直ぐ掴める幸福
はすべて治療を實行なさらねば治る筈はありません。一體に御婦人は因循姑息に流れやすいものですが、殊に婦人病に陷りたる婦人は、兎角引込思案となりうたがひ深くなり、なにごとも無駄事のみ考へ肝腎の點を忘れ勝になるものです。苦しみも或程度に達しますと慢性的となり、昔のあの愉快であつた健康時代を忘れて終ひます。さうなつた御婦人は何といふ不幸でせう。こしけなども終には月經と同じく女には有りがちのものと思ふやうになり、

治療を施さない人もあるやうですが、これは實に危險千萬のことでこしけと冷性は婦人病の兆候の最も正直の現はれでありまして、殊にこしけのおりものの中に含まるゝ滋分の爲めに子胤を絶たれるのであります。從つてこの人はこしけを治すまでは決して子供は生れません。この婦人病がだんだん子宮の奥の方に進みますと、膀胱、腎臟、腹膜又は心臟まで犯し遂に生命を落すことになります。その他少しでも身體に異常ある婦人は、速に「命の母」を服用して身體の奥底から健全な精氣溢るゝ快活に復活らるゝ樣望みます。

下記病狀の人は早く自宅治療遊ばせ

婦人病
重症（獨立的病狀）
子宮病（內膜炎（下腹腰足引つり、子宮の激痛激痛））
血の道（肉體症（逆上、頭痛、眩暈、耳鳴、肩のこり）精神症（神經元進、氣が沈鬱、心配性、悲しき））
輕症（虛弱的病狀）
虛弱症（冷込み（下腹、腰、足冷に、寒む氣、貧血）月經不順（月經なき、長過ぎ、月經前後の下腹痛み））
產前產後（普通狀（つわり、胸わるき、生つば、息切れ等）難產狀（難產又は流產の癖ある人、出產の苦痛時））
こしけ（白血、赤血、時々又は絶えずたりもの）

注意—右の重症、輕症の分類の外に、尙幾多の例外あることは勿論なり。たとへば、產前產後につ一般的病狀の外に子宮內膜炎を併發する場合の如き之れなり。

子寶は美果の如し

佐賀縣 原崎龍男氏　神戶市 弓張文平氏　宮崎縣 藤本晉吉氏愛兒　高知縣 中越氏愛兒　岡山縣 小柏淺太郎氏

子寶は美果の如し
一本の成果樹でもよき果の成る樹と悪しき果のなる樹、乃至は元々成果樹でありながら一向果を着けぬ樹があります。これは矢張りその樹質の強弱に依るのでありまして、樹質の丈夫のもので無くては、良き果實は成りません。一本の樹の生命を託してあるのはその根元でありますのo されば根元の病根を除かなければ樹が肯ち果を結びません。御婦人の體質も之と同樣で婦人病を治療しなくては子寶をお儲けになる事は出來ませぬ。

命の母藥價
五十錢 一圓 二圓 三圓 五圓 十圓
加減「命の母」は約二割增

命の母注文法
▲「命の母」には錠劑と錠粉との二種あり。何れも呑みやすく、効力藥價同樣なり。
▲いろいろの容體に苦しむ方は病狀詳記の上本舖へ加減「命の母」を申込まるべし。
▲送金振替爲替、又は郵券代用も不苦。

▲命の母は世界到る處の信用ある藥店に販賣す

增田醫學博士外三學士著述
「婦人病者の心得」進呈
ハガキにて御申込み次第無代送呈す。

本舖
東京京橋區新榮町四丁目電話京橋二二〇一
大阪市北區本庄中野町電話東一三三番
笹岡省三藥房

ライオン齒磨本舖發賣
大正十年
ライオン當用日記
當日記の特色は百科全書を集めたる附錄二百餘頁に在り。全國各書店にあり。定價金壹圓貳拾錢 送料拾錢 市內六錢
東京市本所區外手町 ライオン本舖出版部

東京現株特電

大連株式特電

慶安太平記

第十三席　小金井芦洲講演

後に退つて先刻斬込んだる一刀を手探りに柄に入れながら、武藝者には用意のある燧火鎌に切石を取出し、火口に火を求めてその附近にある枯草木の枝などを掻い集めてボーッと焚火をする。その火影で正雪が件の人を見ると何うも立派な武士、筋骨は飽まで逞しく肉は豐にして世にも珍らしい偉丈夫だ○『先づ〳〵、どうぞ是へ……』請ぜられる儘に民部之助燃織から下りて來て焚火の間に差向ひ　正『ヤア甚だ失禮を申上げた、手前は唯今も申出でた通り駿州由井の生にして楠河内守判官正成の末裔、由井民部之助橘正雪と申す者でござるが、御貴殿は何處の何と仰せらるゝお方でござる○『お尋ねにて恐れ入る、手前は相州小田原に於て北條家の浪人金井民五郎政國と申します者、何卒宜しく……』　正『左樣でござるか、ジテ親友の仇討と申さるゝ儀は如何いたされた事なるか』民『ハイ、親友と申すよりは義の交はりを結びました兄弟、拙者の兄として居りました、高澤清九郎卑怯未練にも騙討にいたした。それが最前よりお耳に入れました黑川勘藏と申す奴にて、この仇を返しますに就て諸所を尋ね廻り年月を費して今日漸くにして無念を晴らしました。此儀御貴所よりお尋ねがなくとも申上げねば御疑念も晴れないと存ずる、長物語ではござるがお聞き下されたい。實は斯樣な次第でござる……』と千金剛山中觀世音の御堂を前に時は五更を過ぎた丑夜中、豪傑二人焚火をしながら相對して高澤精九郎の仇討を逐一物語る事と相成つた。さて此の金井民五郎政國と言ふ人は後年金井半兵衛と名乘つて由井正雪に合體を致し、大阪の大將となつた人物でありまして、之は相州小田原の北條の家來、仔細あつて小田原を浪人をして仕舞つたが意氣投合して遂に兄と仰いで居たのが高澤精九郎と云ふ者、そこで兩人は諸方を武藝修業と言ふ名で遍歷をいたし、廻り巡つて江州の大津へ來つた時に土地の有志に迎へられ、その温情に依つて大津八丁に道場を出し、此處で劍道の指南をする事に相成りました、然るに遠くは三里離れた京師の洛中あたりからして入門をする者があり、彌が上にも大層繁昌に成りました、ところが此頃の事に丹波國篠山に於て槍術の名人にて甲坂惣一郎といふ人があつて非常に腕前が勝れて居るといふ事、就ては民五郎是非この甲坂に接見してその腕前の程を試して見たくて堪らない、尤も武藝者と言ふものは斯う云ふ心掛けでなければ迚も上達が出來る譯のものではない、思ひ立つたから或日義兄の高澤精九郎に向つて　民『さて兄君、この頃我が道場に於ても噂があります丹波篠山に於て當代屈指の槍術家甲坂惣一郎と云ふ人があるさうでございます、どうか手前一遍行いて腕前を試して見たく、全く勝れて居れますなれば暫らくは師事して教授も受けたく斯う思ふが如何でございませう、我儘勝手のやうでござるけれども暫時お暇を頂戴致したい』精『うむ左樣か、イヤもう武士といふものは何でも名ある人に接近なして藝を研かんければならぬが、どうも昨今手前の夢見が至つて善くない僞な事を氣に掛けるやうであるが、それでは往くにしてもどうか丹波篠山に往つて甲坂惣一郎に逢うて一手合せが相濟んだら直に立戻つて呉れるやうにいたして呉れ』民『左樣でございますか、出たら序だから那の附近を一ト修業いたしたいと心得ますが、兄君が左樣仰せらるれば直樣立戻るでございます』精『どうか何分共に早く戻つて呉れるやう……』と茲に急々話が極つて金井民五郎が出立する事となつた。

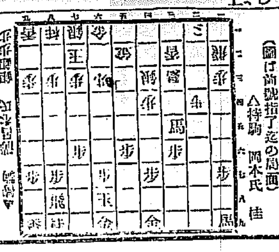
割烹 末廣
京城明治町一丁目
鍋 頭
○宴會好席 電話 一六六二

將棋新手合(四)

於釜山西町岡田與氏宅
滯呂木六段歡迎將棋會

香落　六段▲滯呂木光治(京城)
三段△岡本數一(釜山)

(圖は前號指了迄の局面)
△持駒　岡本氏　桂



△二四馬▲三三香△同馬▲三三飛△同馬▲同銀△二二飛▲四三銀△三五桂▲五四銀△三一と▲六四馬△三二と▲六五銀△四三桂(ヘ)ナル▲五六銀△五二成桂▲同金△三三と▲六二金(以下次號)

滯呂木六段講評
△(へ)四三桂なるの處兎に角も五八金右と上りて防備する處なり

十一月十六日

(舊曆十月六日)
▲火曜日▲皮寶▲一白▲暗劍北方▲先負▲宿▲平▲小

▼一白▲汗と脂に對する報酬は得らるゝ日、獨斷專行愼むべし
▼二黑▲心に迷ひを生じ不得要領に付け込まるゝ日、豊満勸士に凶
▼三碧▲見込の當る日、起業、求職、交渉其他何事に用ゐても上首尾
▼四綠▲順調の日、人望を高め引立を受く女子の獨立にも吉
▼五黃▲逆運にして新しき計畫利益なし固く常業を守るべき日
▼六白▲喜び事多く居ながらにして福德を授けらるゝ日、新事業吉
▼七赤▲向上發展の日、持ち越せし難問題も此日譯もなく解決す
▼八白▲口より禍を招き易く立後れて損す掛取纏まり難き日
▼九紫▲進み過ぎて大破を生ずべく内働きが却つて有利の日

演藝案內

日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
本町三 電話八七三 大正館
當る十一月十二日より大々的提供
◎連續『パテー週報』第七十二回
◎喜劇『頑固な爺』
◎舊劇 山本東藏 野一派總出演
◎新派悲劇 うすき綠 全五卷
貞淑妻夫の奸手段孝子の失脚 病者小藤の不運涙のかわく暇なし
◎國活ゼーテイハンプーン會社作 人情活劇 正義の囁き 全五卷

國活直營 大正活動寫眞株式會社代理店
黃金町 電話一六三七 黃金館
當る十一月十二日より上場
延明院と一心多助 全四卷
現代劇新派 火の山 全五卷
正喜劇 結婚難 全六卷
說明者 泉○葉

御禮 大正館
明治神宮鎮座祭の實況
平家物語 大藏卿
日活會社第二回 市川姉藏初興行
期待以上 初日二日滿員大喝采 大成功

明治神宮鎮座祭の實況
日活會社特別謹寫
忍術 霧隱れと猿飛 全七卷
日活尾上松之助得意中の得意劇
國活冒險活劇 電光石火 第九篇 第十篇 三十一卷の內 四卷上場
奧村茶屋 全五卷
黃金館 全五卷

新派純映畫
火の山
藝術高級寫眞

國活特別撮影
泰西正喜劇 結婚難 全五卷

特撰寫眞 一心太助 全四卷

明治町 電話二六○番 浪花館
京山若丸 野狐三次 御國の花 部花籠 京山愛子
大藏卿 全七卷
本月十一日 日活會社特別謹寫 明治神宮 鎮座祭の實況及代々木青山方面

足袋王 つちやたび
本社 久留米
支店 大阪 東京

倉庫營業開始、貨物運送引換證發行
危險担保付漢江運送
當店發行倉荷證券及貨物引換證ハ殖産銀行忠州支店ノ割引特約アリ
內國通運株式會社京城支店
忠州荷扱所

優等淸酒

京城永樂町二丁目 本莊酒店 電話六五四番
仁川京町 本莊支店 電話二一六番
安東縣大和街通 本莊支店 電話二七番

資本金壹千萬圓
頭取 安田善三郎
京城本町一丁目
株式會社 百三十銀行京城支店
電話長五八番 振替貯金京城一九四番 一一三番
銀行一般の業務總々御便利に御取扱申候 爲替取組先は內地各方面並朝鮮滿蒙の地に有

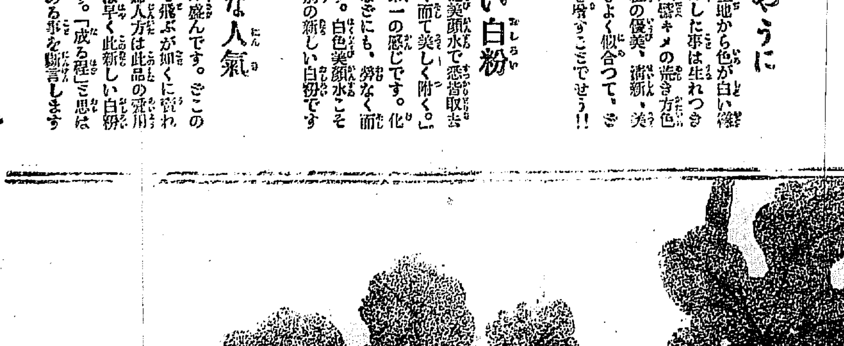
新らしい清らかな、お化粧

白色美顏水

限りなき喜び!!
忘られぬ喜び!!!

肌色美顏水
白色美顏水の姉妹品

生地から白いやうに
白色美顏水のお化粧顏は生地から色が白い樣に見え、その亦色艶の活々した事は生れつき色艶の好い方其儘です。(露キメの荒き方色黑き方も)斯うしたお化粧の優美、淸新、美しさは、どなたのお顏にもよく似合つて、どれ程其の方の淸さ美しさを増すことでせう!!

全く別の新しい白粉
從來のお化粧の缺點は白色美顏水で悉皆取去られました。「大變に勞なく而て美しく附く。」これが此品を使つた時の第一の感じです。化粧馴れぬ方、お急ぎの時などにも、勞なく而て美しくお化粧が上ります。白色美顏水こそは全く從來の化粧料とは別の新しい白粉です

まづく大變な人氣
白色美顏水のお化粧は益々盛んです。どこの化粧品店でも大變な人氣で飛ぶが如くに賣れて居ります。殆ど大概の婦人方は此品の愛用家です。萬一未だの方には早く此新しい白粉の御試用をお勸め致します。「成る程」と思はれる節がきつと二つ三つある事を斷言します